

「夏休みの思い出」

長瀧 健晟（ながたき けんせい） 5歳

幼稚園型認定こども園 松本中央幼稚園（長野教区）

この絵からは、たくさんのお話が聞こえてきます。家族のみんなでキャンプに行ったこと。自然の中でアウトドア用のテーブルやパーベキューコンロを出してお料理をして食べたこと。自分たちでテントを立てたこと。テントの中に入れて、そこで寝ることもできること。草むらには虫たちが、川には魚たちがいたこと。草むらなど、楽しかったことを饒舌に語ってくれました。伝えたい気持ちがあり、関心を持って聞いてくれる先生がいるからこそその豊かな表現です。

5歳頃になると、画面に必ず基底線と呼ばれる地面を表す線と空や太陽を描きます。それは、自分たちが、地面と空の間に存在しているという認識、つまり空間認識を持ち始めたことを示します。さらに、この作品では地面の線が手前の緑の草むらへと広がっており、右端に川の流れが斜めに横切っています。草むらには虫たちが、川には魚の姿も見えます。このような表現から、さらに高度な空間認識への過渡期であることもわかります。

●表紙のことば●



おお はし いさお
大橋 功

和歌山信愛大学